

2020年(令和2年)11月25日

藤沢市下水道運営審議会

会長 杉 渕 武 様

藤沢市長 鈴木 恒 夫

今後の下水道事業における整備と運営のあり方について（諮問）

下水道は、都市における生活環境を改善し、浸水を防除するとともに水質を保全するなど、市民の暮らしや都市機能、水環境を守るために欠くことのできない生活基盤施設であります。

本市の下水道事業は昭和26年から積極的に整備を進め、より一層の普及の向上を図る中で、令和元年度末における下水道の人口普及率は95.8パーセントとなり、全市域で概成に至っております。

その一方で、下水道事業を取り巻く課題は多様化しており、2011年に本市の下水道の整備方針と将来を見据えた経営方針となる「湘南ふじさわ下水道ビジョン」を策定して以降、各施策の実施により、効率的かつ効果的な事業運営に努めてまいりました。

現状では、下水道の急速な老朽化の進展等に対する強靱化や気候変動による自然災害の激甚化への対処、あるいは人口減少等から想定される下水道使用料の減収などの事業運営課題がさらに深刻化しており、その対処のため、新たな視点による中長期事業運営方針のもとで、公営企業として経営の健全性を確保し、将来にわたってサービスの提供を継続する必要があります。

これらに対応するため、策定から9年が経過した「湘南ふじさわ下水道ビジョン」の見直し、及び今後の下水道使用料のあり方を踏まえた事業収支計画（「中・短期経営計画」）の策定を具体的内容とする「今後の下水道事業における整備と運営のあり方」につきまして、藤沢市下水道運営審議会規則第2条の規定により、貴審議会の意見を求めます。

以 上

（事務担当 下水道総務課）